

令和7年度第1回石巻市総合計画審議会 会議録

■日 時 令和7年4月10日（木） 14時～15時30分

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

1 会議開催について

- ・委員数20名に対して17名が出席しており会議は成立
- ・いしのまき農業協同組合の近藤浩之委員が異動のため退任。後任として加納美雄氏が委員に就任。
- ・本市人事異動に伴い、事務局体制が変更となった。政策企画課 吉田課長、蝦名主査、及川主任主事の3名が着任。

2 開会あいさつ

（姥浦会長あいさつ）

年度始めのお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。本日は、前回まで皆様方から幅広くいただいた御意見をもとに、事務局において取りまとめ案を作成いただきましたので、その内容に対し改めて皆様方から幅広く御意見をいただき、最終的なものへとブラッシュアップしていければと考えております。本日も引き続きよろしくお願いいたします。

3 議題

（1）子どもアンケートの結果について（資料1）

今年度のスケジュール、子どもアンケートの結果について説明

（阿部委員）

小学校5年生937名、中学生845名を対象にアンケートを実施した旨記載がありますが、おおよその男女比率を教えてください。

（吉田政策企画課長）

今回実施したアンケートにおいて、男女を問う設問は設けておりません。しかしながら、この年代の人口比率を鑑みると、男性が3%程度多い状況ですので、回答率が高いことから、その割合が比例するのではないかと考えております。

（橋本委員）

子ども達の意見で「不便」、「都会に行きたい」、「仕事がない」等の少しネガティブな意見のほか、「自然」や「人が優しい」等の良い意見が挙げられていたと思います。

前期計画を策定する際にも市民意識調査等を実施し、その結果を踏まえ現在の計画

を策定されたことと思いますが、今回報告のあったアンケート結果について、どのように中間案及び最終案に結びつけていくのか、御説明いただきたく思います。

(吉田政策企画課長)

子どもアンケートについて、委員お話しのとおりそのまま終わらせるわけにはいかないと我々も考えております。施策展開への反映について、具体的にはこの後説明するロジックモデル、政策体系に基づき、今後施策を実施していくこととなりますが、その辺りに、子ども達から頂いた意見を反映してまいりたいと考えております。

また、前期計画においては「市民の視点」のようなものがありましたので、子ども達の視点、意見ということで掲載していくことも必要だと考えており、今後検討してまいります。

(2) 後期基本計画骨子(案)について(資料2～4)

審議会委員意見を踏まえた施策体系及び指標の変更(案)、骨子案について説明

(橋本委員)

委員から計245件の意見があったとのこと、1人大体13件から15件程度の意見を提出しているかと思いますが、それを丁寧に挙げていただき、ありがとうございます。

スケジュール的に、KPI・KGIの是非を考えてしまうと永遠に議論が終わらないと思うので、私は概ね良いと考えております。

しかし、伺いたいことが1点、それを踏まえて提案が1点ございます。

伺いたいことについて、KGIやKPIに設定されている数値は、市民意識調査に基づいて設定しているものが多いと思います。本調査について、今年は3,200人を母数にして回答が1,104件、回答率としておおよそ34.5%となっておりますが、これは統計的に有効な数字なのでしょうか。回答を踏まえただうえで、次の話をいたします。

(吉田政策企画課長)

私は、前期計画を策定したときにも関わらせていただきました。その前期計画を策定したときのアンケートにつきましては、3,000人を対象として、細かい数字までは覚えておりませんが多くの市民の方から回答を得ました。その際に、只今委員から御指摘のありました「統計的に有効なのか否か」ということを突き詰めたうえでアンケートを実施し、「有効である」と確認したうえで、それをまとめて前期計画を策定いたしました。今回の後期計画については、それよりもかなり多い数字をまとめておりますので、有効なものとして、こちらとしては判断をしております。

(橋本委員)

ありがとうございました。各委員からの意見において、「体系・指標」についての意見が85件あり、いくつかは取り入れて指標などを変更していただいておりますが、意見はあるものの、変更されていない指標もございます。例えばバリアフリー化

1 率を指標にしたらいいいのではないかという意見が多くありました。これに対し、「数
2 値が捉えられないからそれを指標として設定することはできない」という回答がされ
3 ておりました。後期計画においては、現在取れる数字をもとに計画を作っていくとい
4 う形で良いと思いますが、将来策定することが想定される第3次総合計画に向け、今
5 回皆さんから多くいただいた意見に基づいて、市民意識調査や補完調査などを実施
6 し、きちんと数字を押さえられるように、これから5年間かけて政策企画課が音頭を
7 取っていただいたら良いのではないかと考えます。

8 次に、今回の資料には記載がない感想等57件、取組に対する意見・提案93件に
9 ついて、各委員は具体的に何をやっていくかという部分を知りたいのではないかと
10 います。その部分をどのように組み立てていくのかを、なるべく早めに委員の皆さん
11 に御提案していただいて、次の会議において具体的に何をしたらいいのかという部分
12 を議論できるような形にさせていただくと、よりこの審議会が意味を持つものになるの
13 ではないかなと感じました。

14 (吉田政策企画課長)

15 ただいまの2点について回答いたします。1点目、その指標の数値が押さえられて
16 いない、もっと上げていくべきというところはごもっともだと思っております。市民
17 意識調査等でそのデータを掴んでいないものについては、現状を把握できないので、
18 将来の目標も設定できないということとなっておりますが、やはり委員の御指摘のと
19 おり、指標を設定管理していくには、的確な指標の確認が必要だと考えます。今後は
20 この後期計画を進めながら、次期の計画に向けてその辺りをブラッシュアップしてい
21 かなければならないのかなと考えております。

22 次に具体的な取組について、この後期計画につきましては基本計画になりますの
23 で、実施計画に掲げるような個別事業につきましては、掲載できないと考えておりま
24 すが、その辺りの方向を見据えるといった表現につきましては、工夫して取り組んで
25 まいります。

26 (尾形委員)

27 資料2-1の5ページに「新規創業及び第二創業を促進する」というような形で掲
28 載されておりますが、これは、委員意見の中で、新規事業だけではなく、事業承継の
29 問題にも触れるべきという意見があり変えたことかと思えます。しかし、第二創業は
30 「今やっている事業を異なる新分野で行う」という意味合いだと思います。事業承継
31 というものがこの中にうたわれておりません。石巻市でも事業承継について、産業
32 部、事業承継・引継ぎ支援センターなどで相談等行っており、数字的な部分も取れる
33 ことがあると思います。気仙沼と石巻が事業承継・引継ぎ支援センターの重点支援地
34 域に指定されておりますが、事業承継の部分について、委員の意見が計画の中に反映
35 されていないのではないのでしょうか。

36 (吉田政策企画課長)

37 事業承継について、産業部で把握しているかというところでございますが、先ほど

1 の説明とも重なりますけれども、現時点あるいはここ数年の情報を把握できないと、
2 将来に向けた目標件数の設定は難しいというところもあります。しかし、御指摘はご
3 もっともですので、現状を確認した上で、検討をさせていただきます。

4 (宇角委員)

5 資料4第Ⅲ編第2章の記載の中に、「ゼロカーボンシティ宣言」の記載があります
6 が、ゼロカーボンというのは無理な話であり、「カーボンニュートラル」という表現
7 を使った方が良くと考えます。排出量をゼロにするという考え方ではなく、自然環境
8 を豊かにして温室効果ガスを吸収し、併せて出さない取組を行うという方が現実的だ
9 と考えます。

10 (吉田政策企画課長)

11 「ゼロカーボンシティ宣言」を本市ではすでに行っており、ここは「カーボンニュ
12 ートラル宣言」と書くことはできませんので、御理解を賜りたく存じます。しかし、
13 委員御指摘の通り、カーボンニュートラルの考え方は大切ですので、それを踏まえた
14 うえで施策の展開を検討してまいります。

15 (姥浦会長)

16 例えば、実質的排出量ゼロ（カーボンニュートラル）といった記載ぶり等あると思
17 います。

18 (橋本委員)

19 説明を聞き状況は理解いたしましたが、「人口戦略の推進」の「デジタル田園都市
20 構想」の箇所の「注視するが、現時点では本戦略に十分に反映することが困難な状況
21 である」という記載が、思考停止してしまっているように見えます。これから現在の
22 内閣がどのぐらい続くかわかりませんが、地方創生2.0でデジタル田園都市の交付
23 金が第2世代交付金というのに切り替わるということだけは分かっている、それをう
24 まく使いながら、石巻市の人口戦略を組んでいくということになると思います。こう
25 いった審議会の場合である必要性はないのかもしれませんが、これを注視して、いい意
26 味でその計画自体を変えていくということをしっかり見据えた上で、今般計画を作ら
27 れた方が良くのではないかと考えます。今回の計画で反映するのは困難なので、一旦
28 これで終わりますということではなく、総合計画で変えていくのは難しいかもしれま
29 せんが、国の助成の活用や、ここには記載がございませんが、アメリカ大統領が変わ
30 ったことなど、様々なところで影響が出てくるので、そういった部分も含めて、基本
31 計画自体を変えていくというようなことをある程度考えた上で組み立てをしたほうが
32 いいのではないかと考えます。

33 (吉田政策企画課長)

34 御提案ありがとうございます。地方創生2.0につきましては、我々が策定しよう
35 としている後期計画策定のリミットがあり、そのタイミングまでにこの2.0がどこ
36 まで示されるかというところで、このような曖昧な表現にさせていただきましたが、
37 将来を見据えて取り組んでいかなければならないことは間違いございませんので、御

指摘を踏まえて、様々な展開に反映できるよう取り組んでまいります。

(尾形委員)

最後の資料の本市の人口戦略について、「安定した雇用を創出し、稼ぐまちをつくる」ということが一番上にあり、女性や高齢者等の誰もが働きやすい地域を目指しますと説明されておりますが、石巻市には外国人の研修生とか実習生等が多くいると思います。今後石巻市として外国人の活用などにも力を入れていかないと働き手が確保できない部分があると思います。石巻市としても日本語学校などの話も出ておりましたので、その辺りについての検討がどうなっているのかお聞きします。

(吉田政策企画課長)

外国人の活用については、総合計画の骨子案ではそこまで具体的なところまでは踏み込んでおりません。今後中間案に向け、どのような施策の展開の構成にするかということこれから庁内で調整してまいりますので、外国人の雇用等の新しい視点につきましては、こちらとしても注視して、進捗管理を行ってまいります。

(岡復興企画部長)

補足すると、女性や高齢者の活躍推進というのはここに書いてある通りですが、「等」のところには当然外国人も含んでおります。また、副業は国でも推進を打ち出しておりますことから、女性活躍、高齢者の活躍、外国人の雇用の推進、副業の推進ということで、雇用確保の四本柱になるというふうな認識でおります。その辺りをしっかりと計画に位置付けた中で取り組んでまいります。

4 その他

政策企画課より、委員報酬及び次回開催予定（6月上旬頃）について説明。

5 閉会あいさつ

(後藤副会長)

総合計画は市の最上位計画であり、この計画に沿って各種施策が行われていくことになると思います。そのため、採用されるされないの如何に問わず、また、この会議の場以外においても市役所に来庁することはあると思いますので、皆様の意見をしっかりと伝えていただければと思います。

2点目ですが、せっかく様々な取組を行っているものの、小学生、中学生のアンケートをみても、年齢を重ねるごとに市外へ出たいと希望する若者が多くなっている、恐らく高校生になるともっとその気持ちが強くなっていくのかなと思います。子ども達が出ていかないためには、我々大人たちが何をやっているのかということ、しっかりと子ども達、そして一般の方にも伝えていくという作業が重要であると思います。それが出来れば、次回同じようなアンケートを取る際にももう少しいい結果が得られるのかなと考えております。

最後に、本日地区別将来展望の話がありましたが、アンケート結果をみてもやはり

1 地区によって考え方の違い等があると思います。1市6町が合併した石巻にとって、
2 比較的住宅等の集積が進んでいる地域がある反面、とりわけ東日本大震災の津波の影
3 響を受けて人口減少が著しい地域は、お店が欲しいといっても経済的に成り立たない
4 ため出店する人はいないわけです。それがそのままあのアンケートに反映されている
5 のかなと思います。それをどのように解決したらいいのかということについて、もっ
6 と提案できていけば、市のビジョンが作りやすくなるのではないかなと感じておりま
7 す。とりわけ私は雄勝や牡鹿にはよく行くので、どうにかしてより良いまちにしてい
8 けるかなと心から思いますので、みなさんも様々な意見を今後とも出していただけれ
9 ばと思います。本日はお疲れさまでした。

石巻市総合計画審議会委員名簿

No.	氏 人	所 属	備 考
1	姥浦 道生	東北大学災害科学国際研究所	出席
2	横江 信一	石巻専修大学	出席
3	庄司 昌彦	武蔵学園データサイエンス研究所 / 武蔵大学	欠席
4	大石 剛史	東北福祉大学	欠席
5	伏見 不二雄	石巻市町内会連合会	出席
6	井上 達彦	石巻市防災士協議会	出席
7	遠藤 一恵	石巻市女性活躍推進会議	出席
8	宇角 安弘	特定非営利活動法人 いしのまき環境ネット	出席
9	林 久善	社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会	出席
10	木村 民男	石巻市子ども・子育て会議	出席
11	尾形 輝雄	石巻商工会議所	出席
12	須能 邦雄	石巻市水産振興協議会	出席
13	加納 美雄	いしのまき農業協同組合	出席
14	後藤 宗徳	一般社団法人 石巻観光協会	出席
15	橋本 丈史	株式会社 街づくりまんぼう	出席
16	阿部 隆	特定非営利活動法人 石巻市スポーツ協会	出席
17	伊藤 桂子	石巻市社会教育委員会	欠席
18	大森 憲市	石巻市PTA協議会	出席
19	花岡 徹	石巻金融団	出席
20	日野 淳	株式会社 口笛書店	出席

オブザーバー

1	畑山 作栄	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所	出席
2	武田 健久	宮城県東部地方振興事務所地方振興部	代理出席

令和7年4月10日現在（敬称略）